

2019 年度聖学院大学大学院

春期入学試験問題

[政治政策学研究科]
修士課程

英 語 (6 0 分)

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

次の英文を読んで、問1～4に答えなさい。

著作権の都合により非公開

著作権の都合により非公開

Source: Davis, M. S. (1971). That's interesting: Towards a phenomenology of sociology and a sociology of phenomenology. *Philosophy of the Social Sciences*, 1(2), 309-344.

問1 下線部(1)を訳しなさい。

問2 著者は、”interesting”とは何かを論ずるうえで、『”interesting”ではないもの』と対比する、という手法を採っている。『”interesting”ではないもの』とは何か、Garfinkel の一箇所目の引用に言及しつつ説明しなさい。

問3 下線部(2)を訳しなさい。

問4 理論の聴衆（読者）が、‘So what?’ ‘Who cares?’ ‘Why bother?’ ‘What good is it?’ と叫ぶときは、どのようなときだと著者は述べているか、説明しなさい

聖学院大学大学院 政治政策学研究所

入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2019 春期 (18 年度実施)	MPEN-015	政策研英語科目

・入試問題解答例等記入欄

【設問】

別紙試験問題「MPEN-015」参照

出題意図（問2と問4ともに）：

英語論文でしばしば用いられる構成上の特性を把握し、その意味するところを正しく説明できる能力を調べるため。

問1 下線部(1)を訳しなさい。

理論家は、偉大だと考えられていた。それは、理論が正しいからではなく、その理論が面白いからである。注意深く、徹底的に些細な理論を検証してきた者たちはすぐに忘れられた；これに対して、雑に手短に面白い理論を検証する理論家は長く記憶される。実際のところ、理論の真実は、その影響力にほとんど関係がない。なぜなら、理論の真偽が議論され、さらに反駁されたとしても、理論は、面白いものとして継続して受け入れられ続けることがあるからだ。

問2 著者は、「interesting」とは何かを論ずるうえで、『"interesting"ではないもの』と対比する、という手法を採っている。『"interesting"ではないもの』とは何か、Garfinkelの一箇所目の引用に言及しつつ説明しなさい。

面白くないものとは、注意力や意識が低い状態で、ガーフィンケルが「ルーチン化され、当たり前のものでされた日常生活の世界」といえる。

問3 下線部(2)を訳しなさい。

ほかの言葉でいえば、新しい理論とは、それが古い真実（ことわざ、決まり文句、格言、言い伝え、常識など）を否定するときのみ注目される。

問4 理論の聴衆（読者）が、‘So what?’ ‘Who cares?’ ‘Why bother?’ ‘What good is it?’ と叫ぶときとは、どのようなときだと著者は述べているか、説明しなさい
理論の実践的な帰結が、聴衆にただちに明らかにならないとき。